

総論

和歌山高専環境都市工学科の進路指導

やまだ おさむ
山田 宰

和歌山工業高等専門学校
准教授・学生主事補

こいけ のぶあき
小池 信昭

和歌山工業高等専門学校
教授・学科主任

1 はじめに

一昨年からの新型コロナウイルスの流行に伴い、学生の就職活動も変化している。筆者は、2019、2020年度の就職、進路指導を担当した経験から感じることを書いてみたいと思う。

1.1 企業との面談

就職担当としての最初の仕事は、採用活動開始に伴う面談である。採用活動に伴う面談は10月から始まり、最盛期には、ほぼ毎日いずれかの企業、官公庁などと面談を行っていた。私事ながら、筆者が就職活動を経験した時期はバブル経済破綻後で、とにかく就職先が少なく、絶望的な状況であったが、全く隔世の感を抱いた。これらの面談で採用担当者の述べられることはほぼ共通して以下の内容であった。

- ①東日本大震災以後、工事の発注量が激増している
- ②土木技術者が全く足りない
- ③組織内の年齢構成がいびつになっている
- ④土木系学科の出身者を採用したいが捕まらない

簡単にまとめると以上のような内容である。そのため、本校にも首都圏の企業からの面談希望が相当数あったことは事実である。

土木技術者の不足は全国的なものであるが、和歌山県内も全く同じ状況であり県内の建設業者も採用に頭を

抱えている状態である。和歌山県は若者の流出人口が多く、県外の大学等に進学した場合で和歌山県に戻り就職するケースが少ない。また、県内企業を希望する本校の卒業生も少なく、地元の希望にこたえられていないのは心苦しい限りであった。

2 和歌山高専環境都市工学科卒業生の進路

2.1 求人数の推移

図-1に2010年度～2020年度の和歌山高専環境都市工学科の求人企業数の推移を示す。求人数は10年間で約4倍に増加している。ことに、2018年度から急激に求人企業数が増大している。理由を断定することは

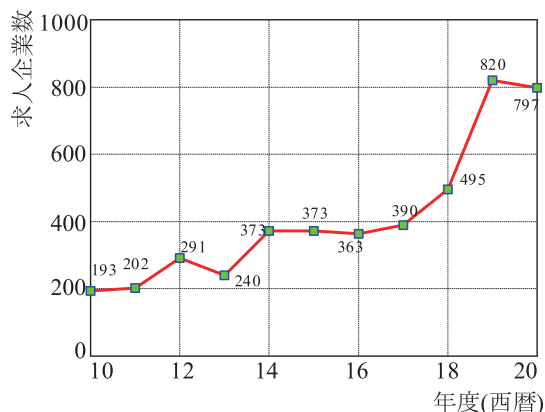


図-1 環境都市工学科求人企業数の推移

できないが、国土強靱化対策工事や災害復旧などにより工事発注量が増えたことによるのではないかと考える。一方で、2020年度は前年度に比較して若干減少している。これは、2020年度から徐々に新型コロナウイルスのまん延による経済活動の影響を受けているものと考えられる。そのような状況であっても、学生一人当たり（1クラス40名）求人企業数は20社程度である。

2.2 学生の進路割合

図-2に2016年度～2020年度の学生の進路を民間企業、公務員、進学に大別してその割合を求めた図を示す。各年度のカラム中の数字は学生数である。本学科の学生の進路は概ね60%が民間企業への就職、そして、約20%が公務員、残りの20%が進学であるといえる。ただし、2020年度のように極端に進学者が少ない年度もあるが民間企業への就職は6割程度であることは同じである。図-1に示した内容と合わせて考察すると、求人数が増大しても、受け入れ先の割合はほぼ一定であるといえる。

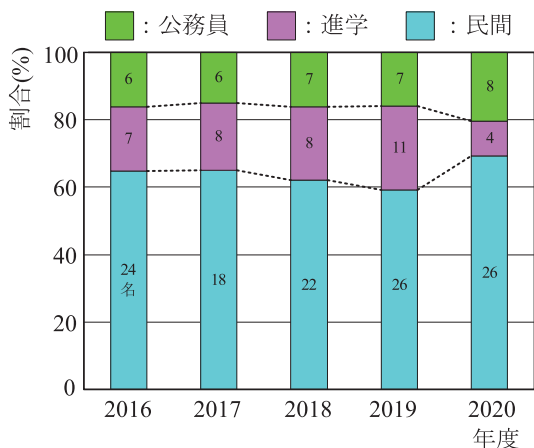


図-2 学生の進路の割合

2.3 学生の就職、進学先

2020年度の学生の就職、進学先を表-1に示す。表中のカッコ内の数字は複数名が就職、進学したことを意味する。この年度は建設業への就職者が最も多く、次いで官公庁・独法、そして、運輸の順である。この傾向は毎年度同じではなく、年度によりコンサル

タントに多数就職することもあれば、運輸業が多数であることもある。また、以前には同一企業に複数名が固まることもあったが、この年度についてはほぼ各社1名ずつの受け入れになっている。

2.4 民間企業へ分野別就職割合

民間企業へ就職者を表-1の分類に従ってグラフ化した図を図-3に示す。この図から、各分野への就職者の割合は、運輸業、鉄鋼業がほぼ同じ割合であるのに対して他の分野は年度ごとの変動が大きい。とくに、2018年度については通信・電力・ガスの割合が多くなっている。

表-1 学生の就職・進学先 (2020年度)

種別	就職・進学先
建設	IHIインフラ建設、極東興和、鴻池組、五洋建設、JFEシビル、ショーボンド建設、大成建設、東京都下水道サービス、竹中土木、西松建設、阪神高速技術
コンサルタント	CTIウイング、ジェイアール東海コンサルタンツ
通信・電力・ガス	NTTインフラネット、大阪ガス、関西電力、電源開発
運輸	近畿日本鉄道、東日本旅客鉄道、東海旅客鉄道、東急電鉄、西日本旅客鉄道、日本空港テクノ
設備	ダイキンエアテクノ
鉄鋼	日鉄住金P&E、日鉄スラグ
官公庁・独法	国土交通省近畿地方整備局、和歌山県(2)、大阪市、海南市、御坊市、田辺市、近畿建設協会、高専機構
進学	和歌山高専専攻科(4)

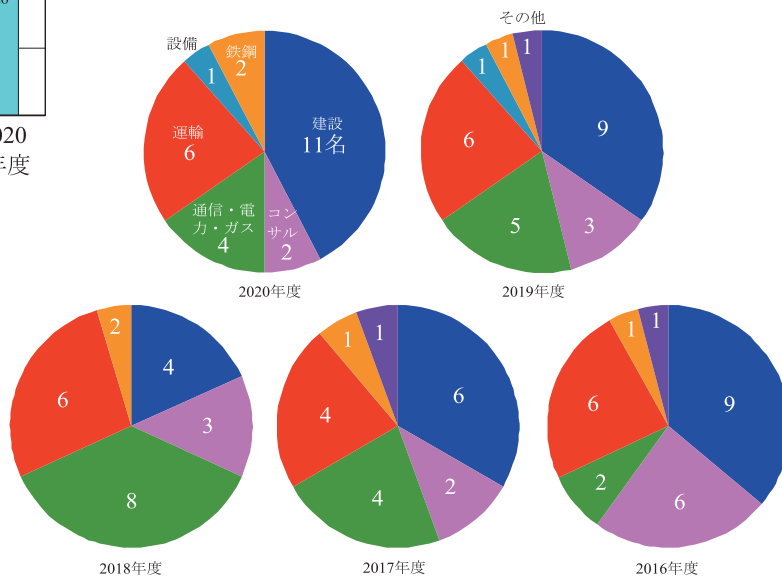


図-3 民間企業へ分野別就職割合